

# 令和4年 尾道観光俳句

## 入選作品一覧

【選者】片山 由美子（「香雨」主宰）

【募集期間】令和四年一月～二月

【投句数】三，七六二句（一般三，二一〇句 ヤング五五二句）

【入選句数】四九句

【ほんぽり掲載】千光寺公園

令和五年三月一八日（土）～四月一六日（日）

【問合せ先】尾道商工会議所 0848-2212165（電話）

0848-2512450（FAX）

主催 尾道商工会議所

共催 （一社）尾道観光協会

後援 尾道市・尾道市教育委員会

尾道しまなみ商工会

# 【特別賞】

## 最優秀賞

三分のゴンドラの旅若葉風

愛媛県 村重 香霞

〔選評〕 わずか三分を「旅」と言ったところに、ここちよい若葉風が吹き渡る初夏の気分が横溢している。

## 優秀賞

島へ影落としゆく雲夏近し

東京都 竹内 彰子

降り立ちし駅に潮の香春の風

広島県 久保 紘子

## 尾道商工会議所会頭賞

花の山行きとは別の道を下り

広島県 田村 祐巳子

## (一社)尾道観光協会会長賞

水道を盛り上がり来る春の潮

岡山県 佐藤 史男

## 尾道市長賞

数へ日の引売りの荷にかまぼこも

岡山県 山県 章宏

## 尾道市議会議長賞

きざはしの一段毎の蝉の声

福岡県 宮城 踏青

## 尾道しまなみ商工会会長賞

文学のこみち飛び来て秋の蝶

広島県 津川 聖久

## ヤング特選

松の間に瀬戸内光る冬景色

神奈川県 白井 吾一

まんかいの桜の下でおべんとう

広島県 井上 楓花

入 選【一般の部】

満開の花にかくるる千光寺	広島県	田中	京子
坂道の手摺も熱く蟬時雨	神奈川県	濱	竜司
静かなる海がのみこむ蟬の声	茨城県	安原	桃香
大吉をたたむ指先秋日傘	東京都	佐々木	柊
風鈴と足音響く千光寺	大阪府	北田	弦土
石段を汗かきのぼる寺めぐり	東京都	石川	美貴子
金木犀香るベンチに猫二匹	京都府	竹馬	拓己
秋分や島の真西に日が落ちる	東京都	廣谷	和生
浜木綿に雨くる潮待ち港かな	岐阜県	島津	美恵
尾道の坂埋め尽くす蟬の声	北海道	米山	恵子
卯波立つ芙美子の海を見て飽かず	岡山県	笹井	愛
海沿いを走る列車へ花吹雪	広島県	名賀	孝恵
存分に坂道歩き冬うらら	京都府	野村	隆俊
鈍行を乗り継ぎ夏の尾道へ	兵庫県	長原	汐里

観音へ炎上げたる牡丹の芽	兵庫県	山尾	カツヨ
海風に花ふるへけり千光寺	広島県	平本	魚水
ふる里へ続く大橋花明かり	広島県	榊原	素女
遠ざかる船のしぶきよ春暑し	広島県	繁田	滋子
国宝の塔へと舞ひて桐一葉	広島県	宮永	直美
ひぐらしの声におされて坂下る	群馬県	瀧	尚史
仁王門の奥にまた門八重桜	広島県	吉原	文音
住吉の海へ若衆荒神輿	広島県	名賀	昇
花吹雪ただ立ち尽くす二人かな	茨城県	黒木	成剛
尾道や蜜柑の島を見下ろして	岐阜県	松永	智志
自転車でしまなみ海道渡り春	東京都	黒田	恵子
尾道の風追ひかけて春の空	千葉県	樽谷	幸龍
水道をこがねに染むる大夕焼	大阪府	古田	小春
尾道や島それぞれに秋の風	東京都	廣野	順子
海光を塔の向かうに花万朶	大阪府	榎谷	貞子
島々に切りとられ風光る海	東京都	松本	春佳

秋風が鐘の音運ぶ千光寺

京都府

山本 雄太郎

尾道は坂多き町猫の恋

兵庫県

武本 敬子

## 入 選【ヤングの部】

ロープウエーはじめてのつたお正月

広島県

原 千貴

風薫る海も香るよ坂の町

広島県

島 健祐

千光寺たたいてみたいな除夜の鐘

神奈川県

村中 玲奈

潮風の香りとともに桜咲く

広島県

石田 波南

桜咲き日が沈みゆく千光寺

東京都

佐藤 温仁

ロープウエイ暑さ忘れて下りゆく

広島県

東原 一輝

静寂な町を見下ろすさくらかな

広島県

中岡 大誠